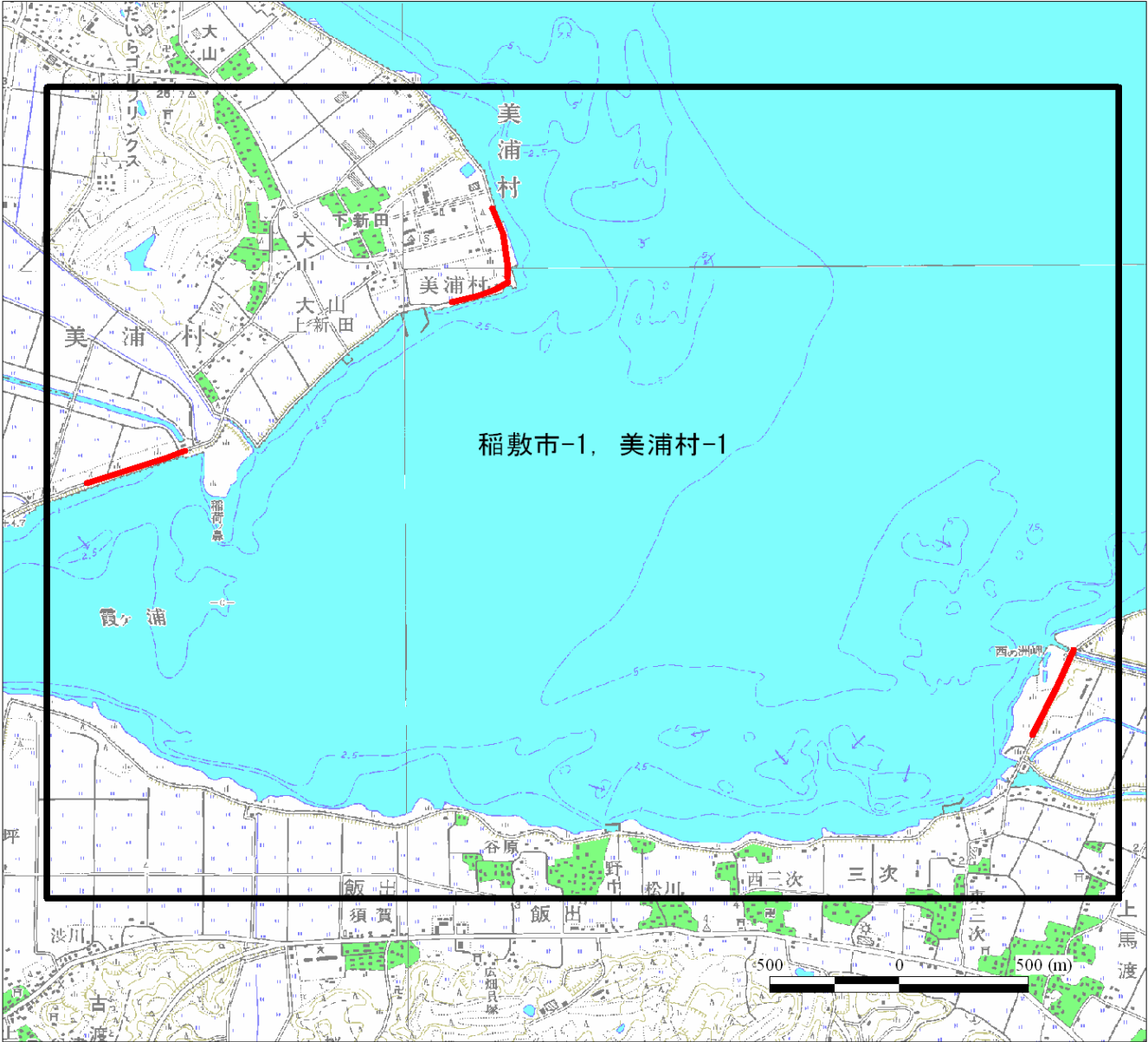
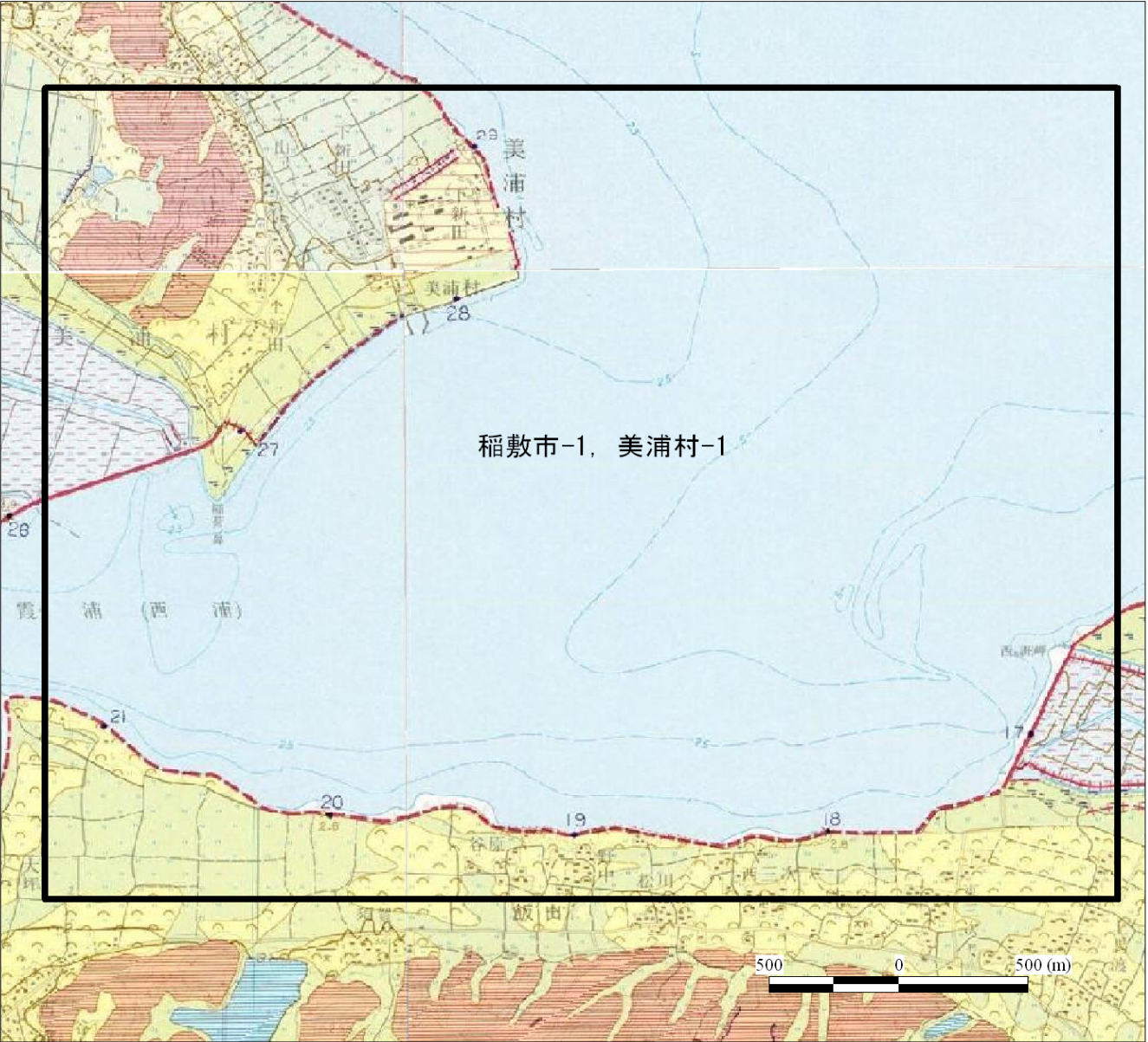


箇所名	稲敷市-1, 美浦村-1		都道府県	茨城県	市区町村	稲敷市、美浦村	地区	稲敷市西の洲, 美浦村余郷入, 大山		1/6
発生面積	中	地形分類	干拓地、海岸平野の盛土地		液状化発生履歴	なし				
土地改変履歴	余郷入地区は1947～1966年、西の洲地区は1960～1966年にかけて干拓。									
被害概要	余郷入地区は堤防が373m、西の洲地区は堤防が250mにわたり変状。大山地区は低水護岸が延長255mにわたり変状。									
噴砂の状況	かなり量が多い(西の洲)		地盤の変形量(沈下、傾斜)		天端沈下1m前後			被害の程度	大	
出典・調査	稲敷市・美浦村ヒアリング、霞ヶ浦河川事務所									

平面図（赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない）

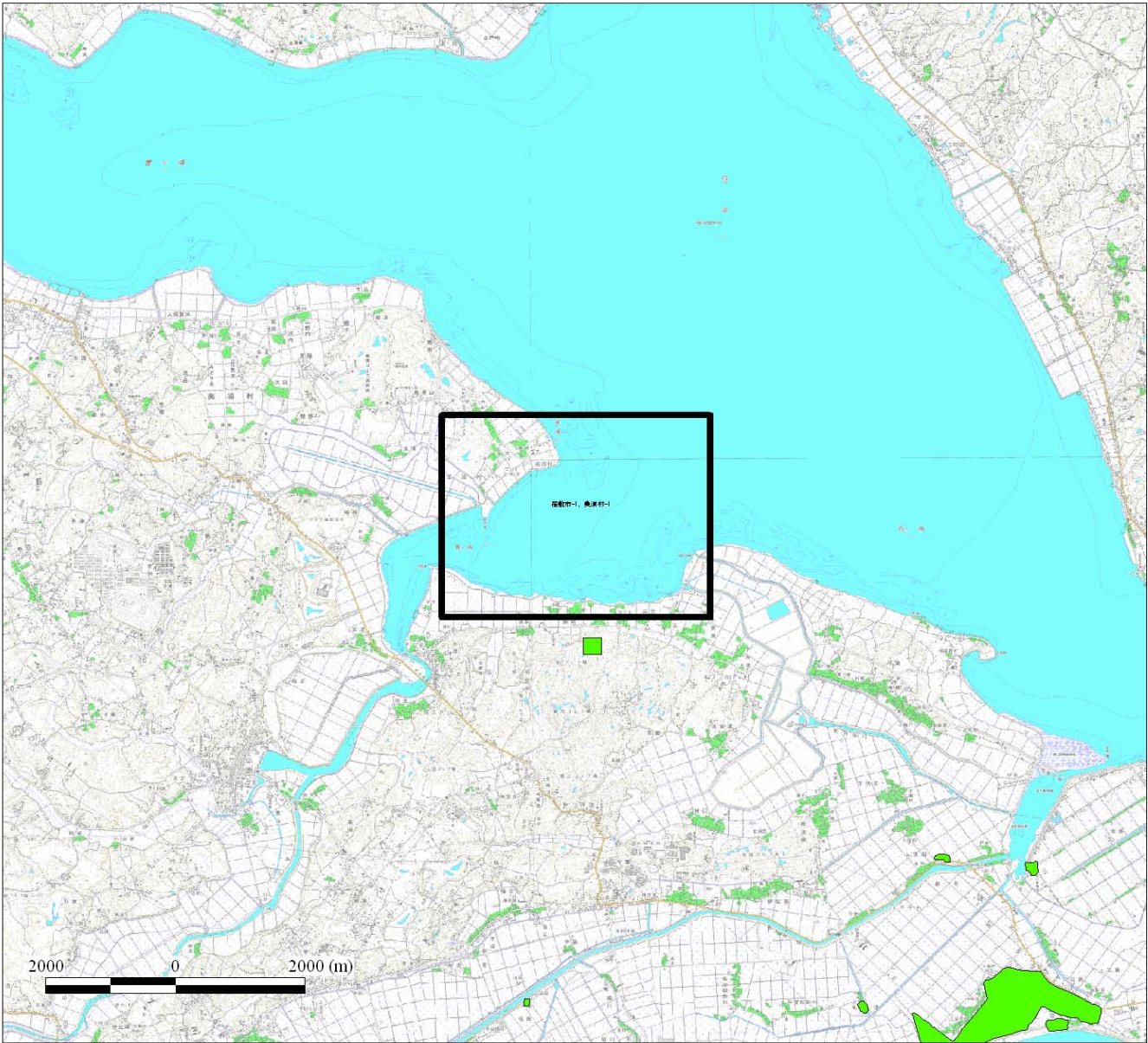


治水地形分類図



箇所名	稲敷市-1, 美浦村-1		都道府県	茨城県	市区町村	稲敷市、美浦村	地区	稲敷市西の洲, 美浦村余郷入, 大山		2/6
発生面積	中	地形分類	干拓地、海岸平野の盛土地		液状化発生履歴	なし				
土地改変履歴	余郷入地区は1947～1966年、西の洲地区は1960～1966年にかけて干拓。									
被害概要	余郷入地区は堤防が373m、西の洲地区は堤防が250mにわたり変状。大山地区は低水護岸が延長255mにわたり変状。									
噴砂の状況	かなり量が多い(西の洲)		地盤の変形量(沈下、傾斜)		天端沈下1m前後			被害の程度	大	
出典・調査	稲敷市・美浦村ヒアリング、霞ヶ浦河川事務所									

日本の液状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)

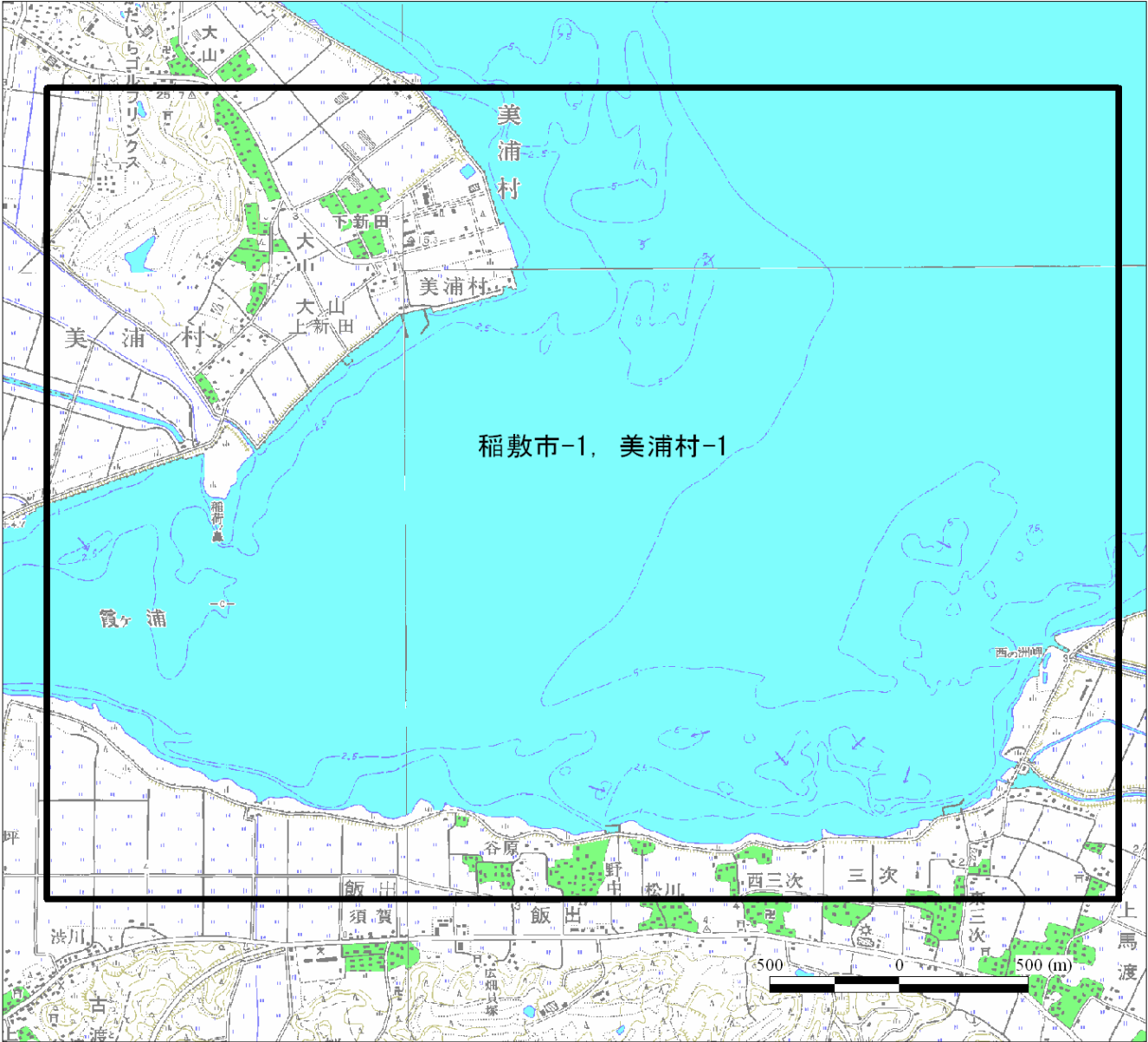


航空写真(googleマップ2011/3/29版)

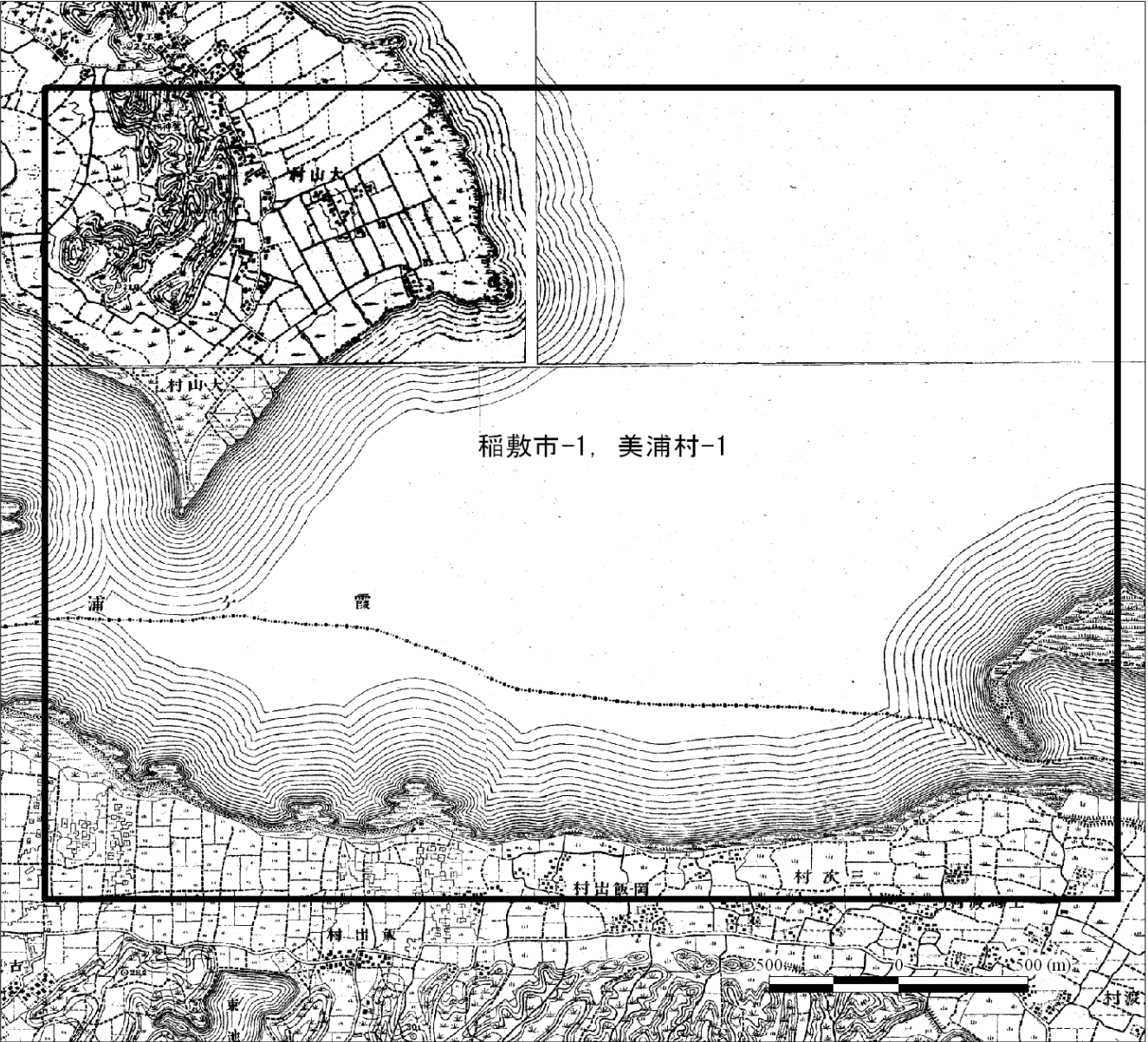


箇所名	稲敷市-1, 美浦村-1		都道府県	茨城県	市区町村	稲敷市、美浦村	地区	稲敷市西の洲, 美浦村余郷入, 大山		3/6
発生面積	中	地形分類	干拓地、海岸平野の盛土地		液状化発生履歴	なし				
土地改変履歴	余郷入地区は1947～1966年、西の洲地区は1960～1966年にかけて干拓。									
被害概要	余郷入地区は堤防が373m、西の洲地区は堤防が250mにわたり変状。大山地区は低水護岸が延長255mにわたり変状。									
噴砂の状況	かなり量が多い(西の洲)		地盤の変形量(沈下、傾斜)		天端沈下1m前後			被害の程度	大	
出典・調査	稲敷市・美浦村ヒアリング、霞ヶ浦河川事務所									

地形図(数値地図25000)



1/20000迅速図: 明治14年測量

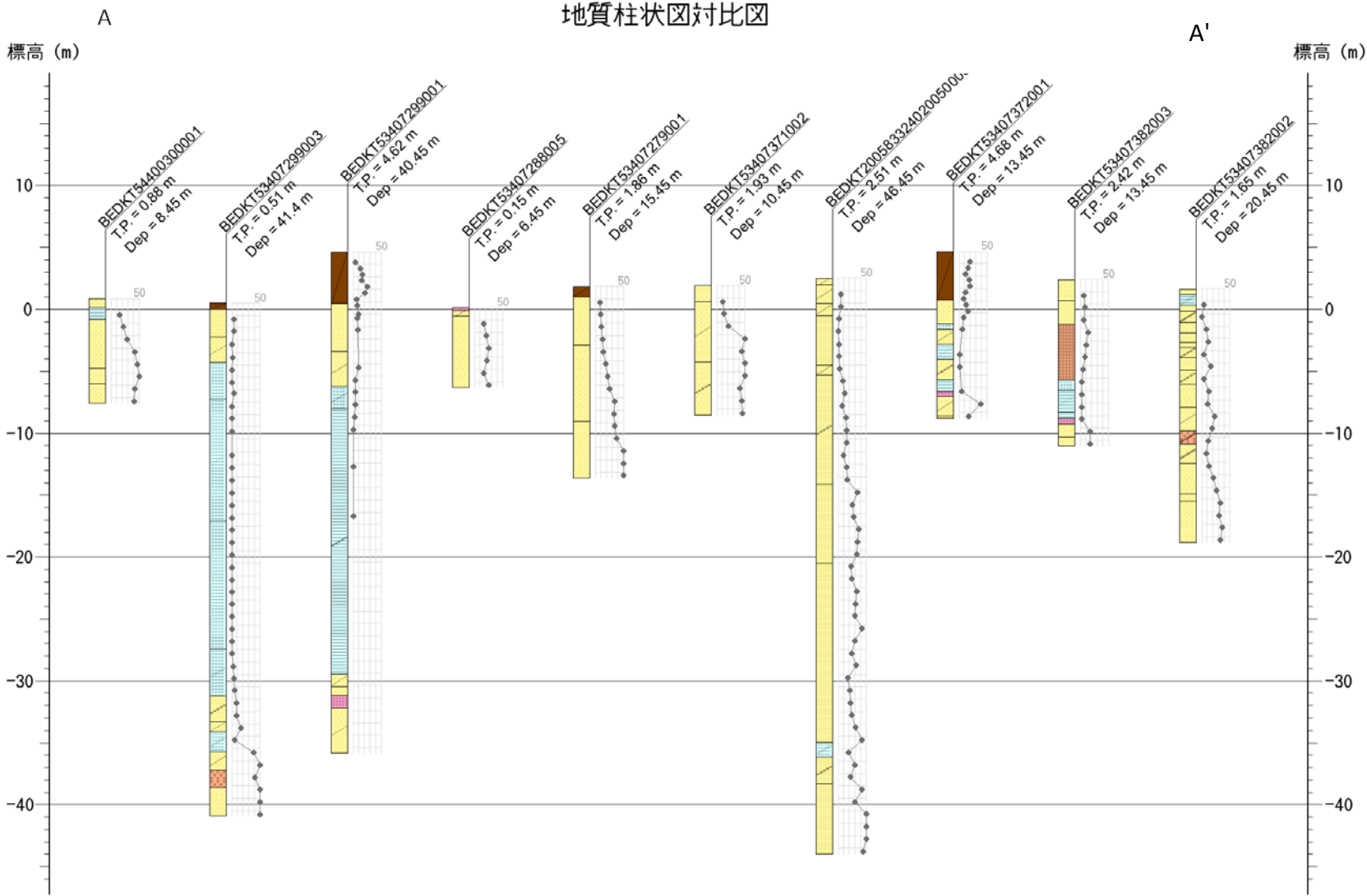


箇所名	稲敷市-1, 美浦村-1		都道府県	茨城県	市区町村	稲敷市、美浦村	地区	稲敷市西の洲, 美浦村余郷入, 大山		4/6
地下水位	GL-0～3.7m	液状化対象層(層厚、深度)		Bs,As,Asc GL-0～17m(層厚4～17m)						
湿潤密度 ρ_t			平均粒径D50			細粒分含有率FC			塑性指数Ip	
平均N値	0～28		液状化強度RL20			S波速度Vs			相対密度Dr	
液状化抵抗率F			適用基準			液状化指数PL				

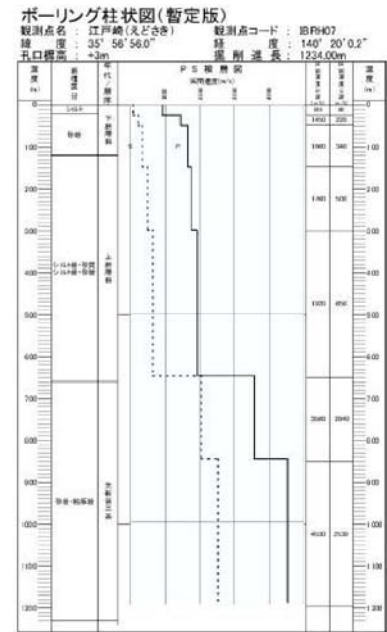
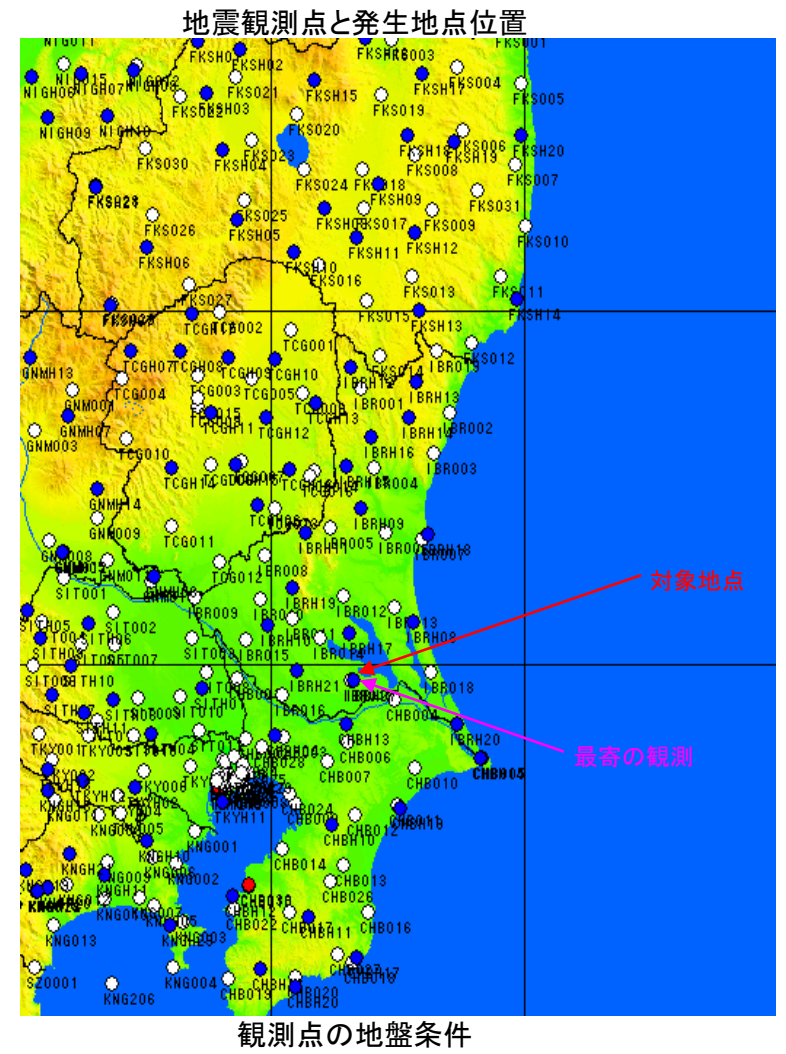
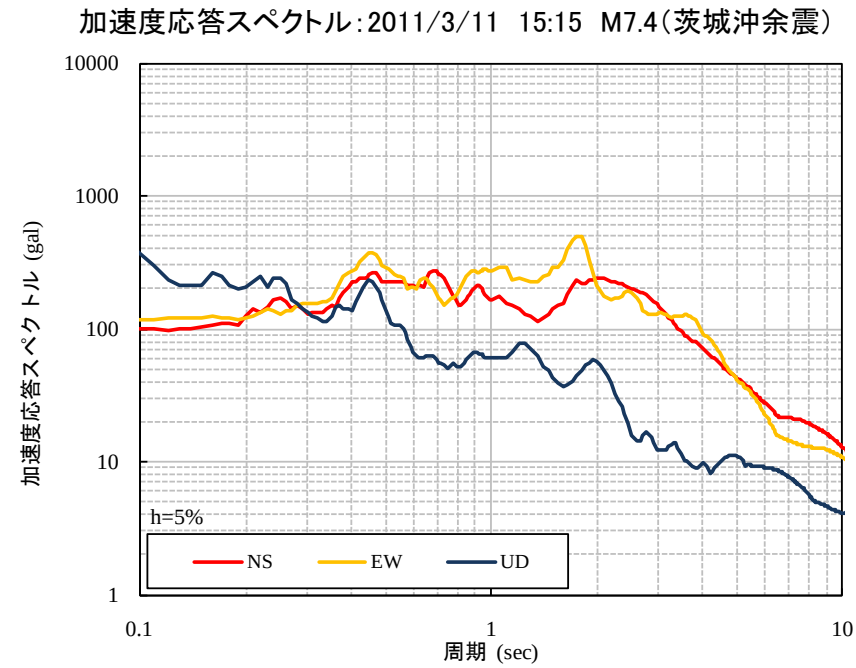
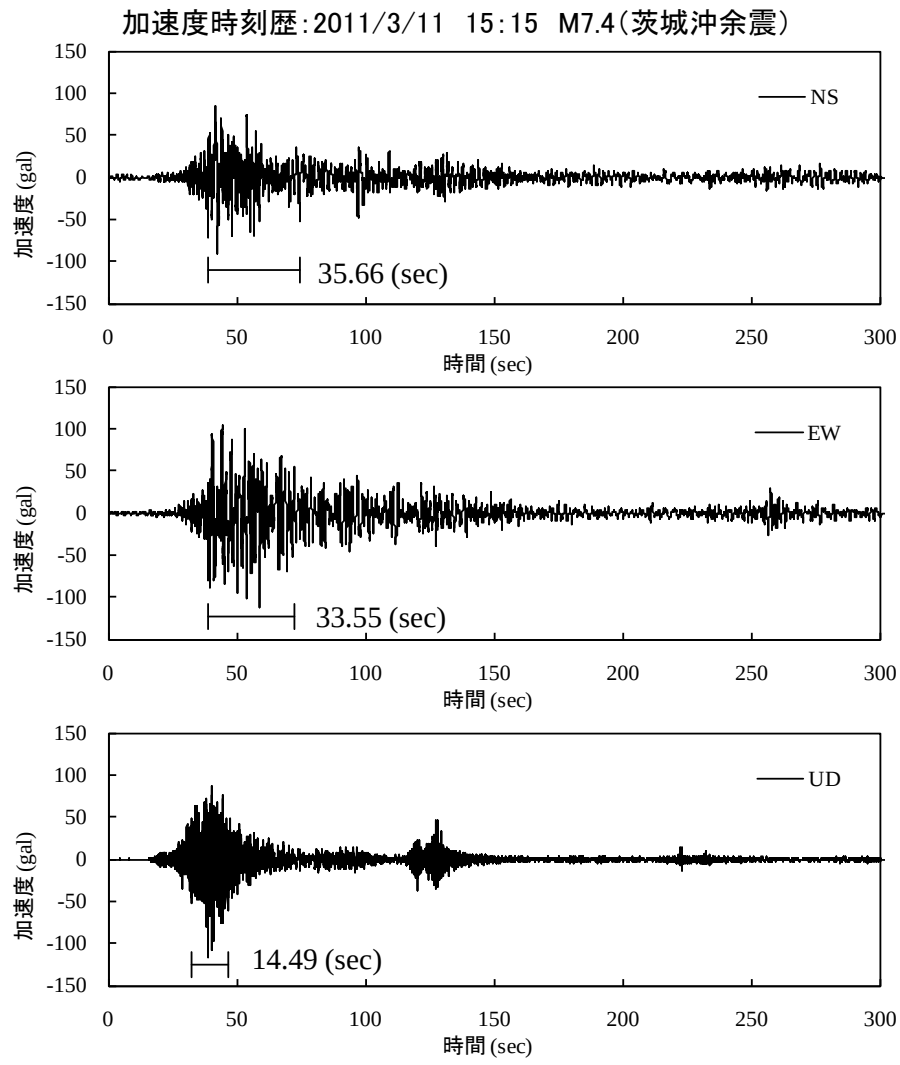
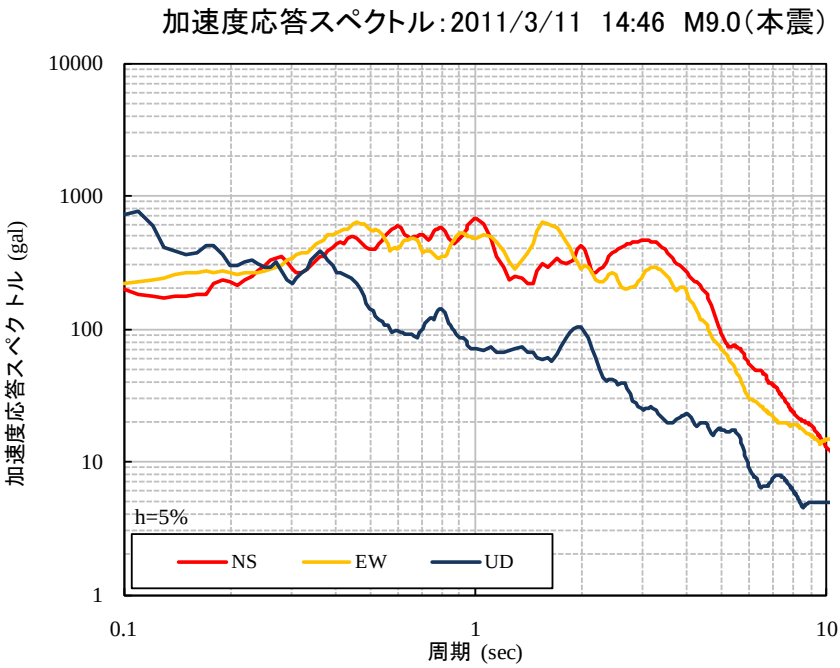
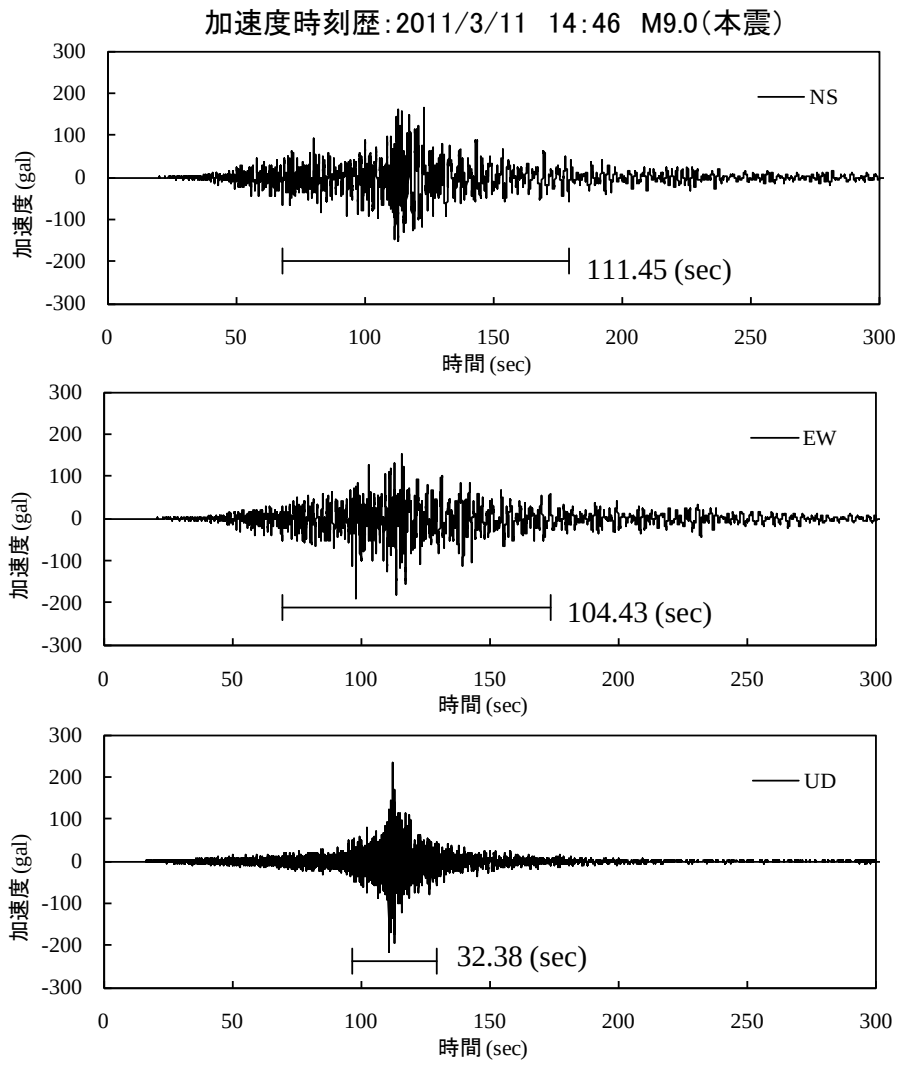
平面位置図



出典:防災科学技術研究所ジオステーション



箇所名	稲敷市-1, 美浦村-1		都道府県	茨城県	市区町村	稲敷市, 美浦村		地区	稲敷市西の洲, 美浦村余郷入, 大山				5/6
対象地震	2011/3/11 14:46 M9.0(本震)		観測点	KIK-NET江戸崎(IBRH07)	対象地点との距離(km)	6.9	最大加速度(gal)	239.1	最大速度(kine)	60.0	継続時間(50gal以上)(s)	111.45	
	2011/3/11 15:15 M7.4(茨城沖余震)							131.9		35.2		35.66	
注)最大加速度、最大速度の値は3成分合成値					気象庁震度(本震)		6弱		出典	防災科学技術研究所HP			



箇所名	稲敷市-1, 美浦村-1		都道府県	茨城県	市区町村	稲敷市、美浦村	地区	稲敷市西の洲, 美浦村余郷入, 大山		6/6
発生面積	中	地形分類	干拓地、海岸平野の盛土地		液状化発生履歴	なし				
土地改変履歴	余郷入地区は1947～1966年、西の洲地区は1960～1966年にかけて干拓。									
被害概要	余郷入地区は堤防が373m、西の洲地区は堤防が250mにわたり変状。大山地区は低水護岸が延長255mにわたり変状。									
噴砂の状況	かなり量が多い(西の洲)		地盤の変形量(沈下、傾斜)		天端沈下1m前後			被害の程度	大	
出典・調査	稲敷市・美浦村ヒアリング、霞ヶ浦河川事務所									

霞ヶ浦河川事務所

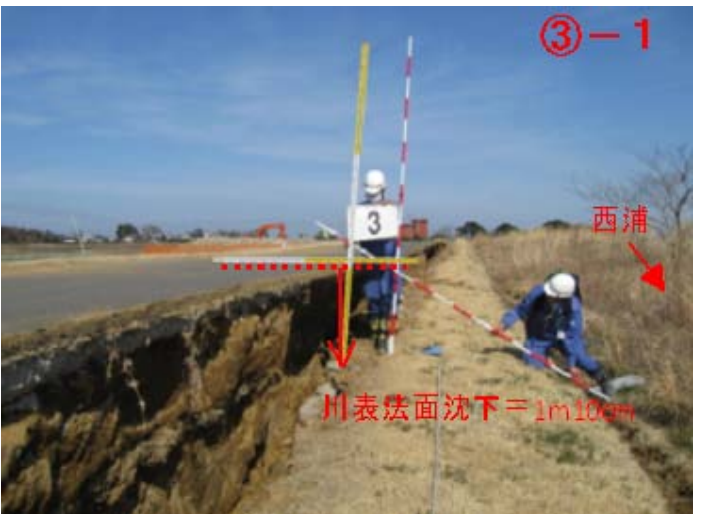
美浦村余郷入



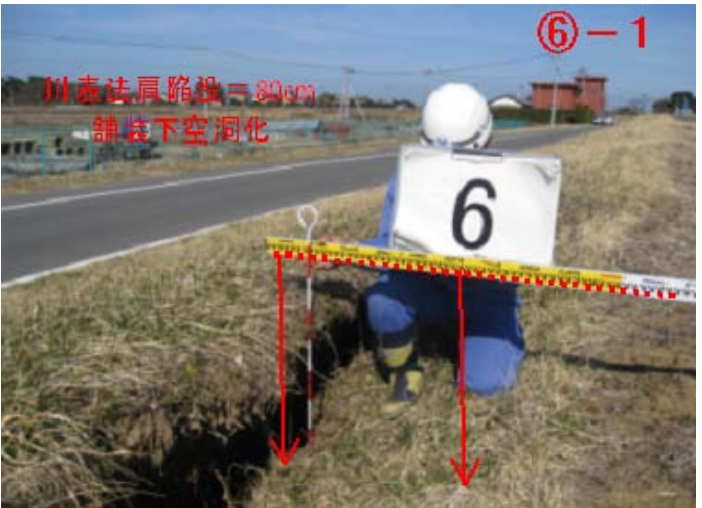
美浦村余郷入



稲敷市西の洲

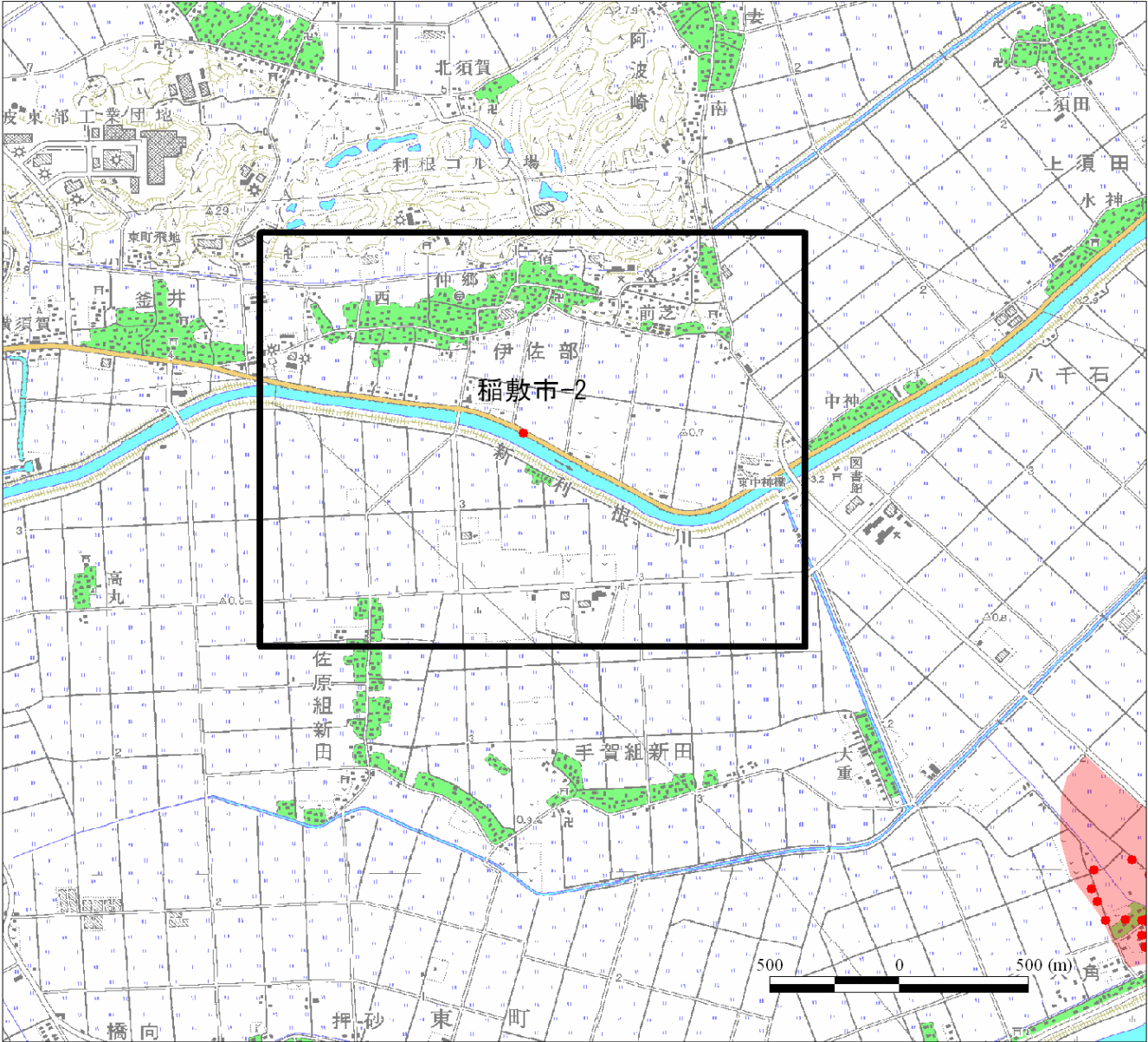


稲敷市西の洲

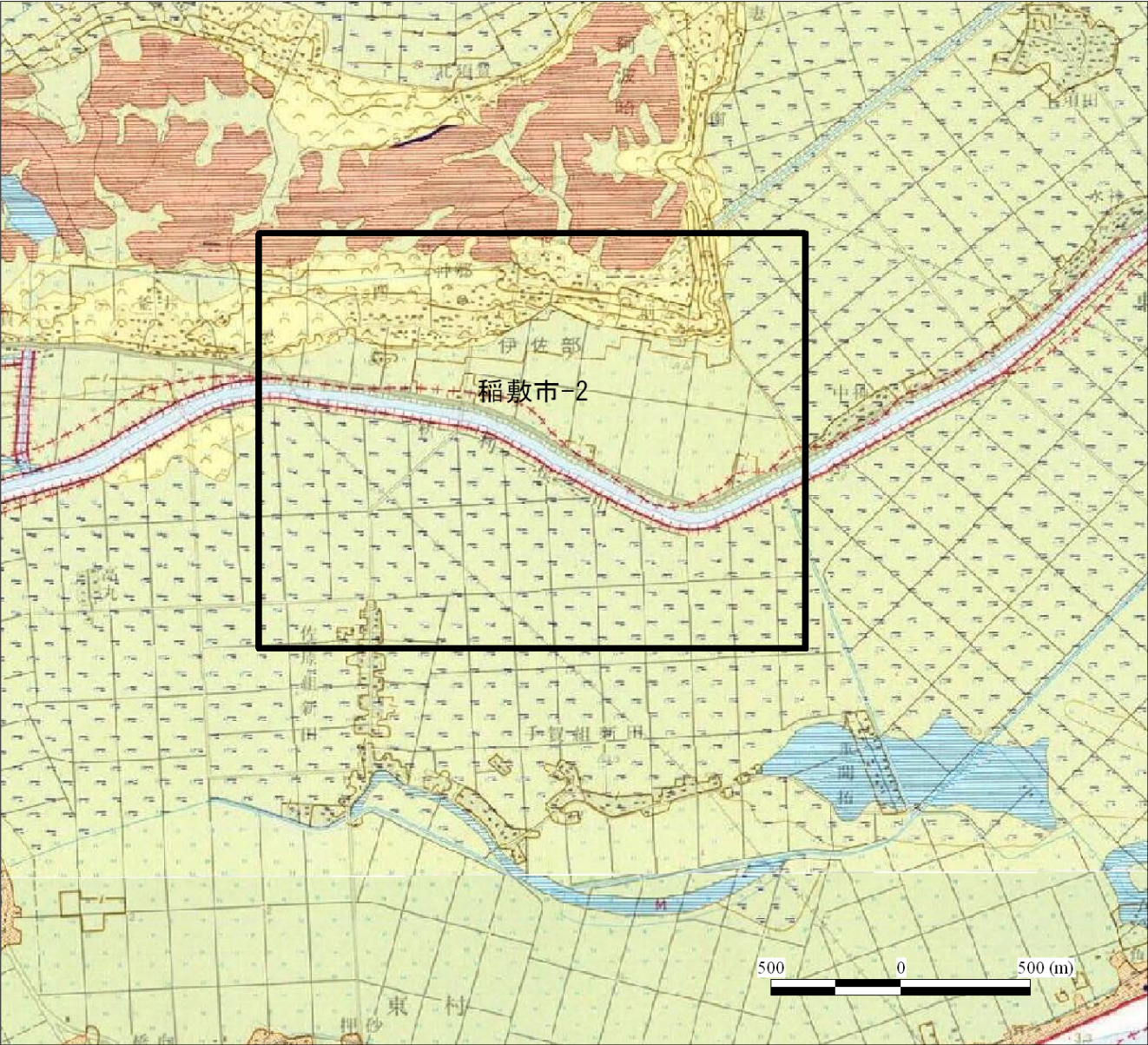


箇所名	稲敷市-2			都道府県	茨城県	市区町村	稲敷市	地区	伊佐部	1/6
発生面積	小	地形分類	氾濫平野			液状化発生履歴	1987千葉県東方沖地震の際に付近に液状化発生の履歴あり			
土地改変履歴	河川改修がされており、旧河道の可能性もある。									
被害概要	堤防上道路のクラック									
噴砂の状況	なし	地盤の変形量(沈下、傾斜)			小	被害の程度			小	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会, 稲敷市ヒアリング									

平面図（赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない）

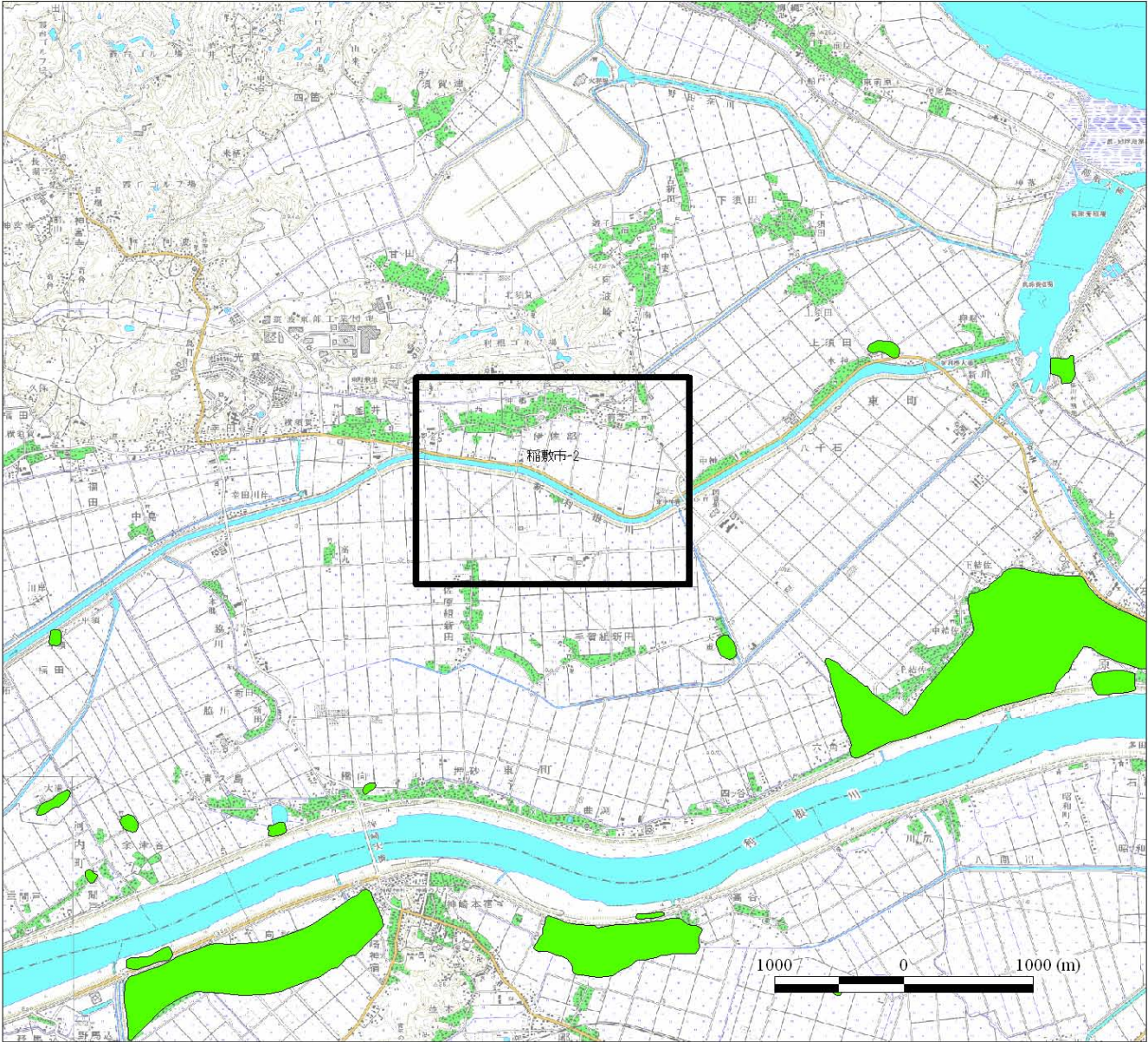


治水地形分類図



箇所名	稲敷市-2			都道府県	茨城県	市区町村	稲敷市	地区	伊佐部	2/6
発生面積	小	地形分類	氾濫平野			液状化発生履歴	1987千葉県東方沖地震の際に付近に液状化発生の履歴あり			
土地改変履歴	河川改修がされており、旧河道の可能性もある。									
被害概要	堤防上道路のクラック									
噴砂の状況	なし	地盤の変形量(沈下、傾斜)			小	被害の程度			小	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会, 稲敷市ヒアリング									

日本の液状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)

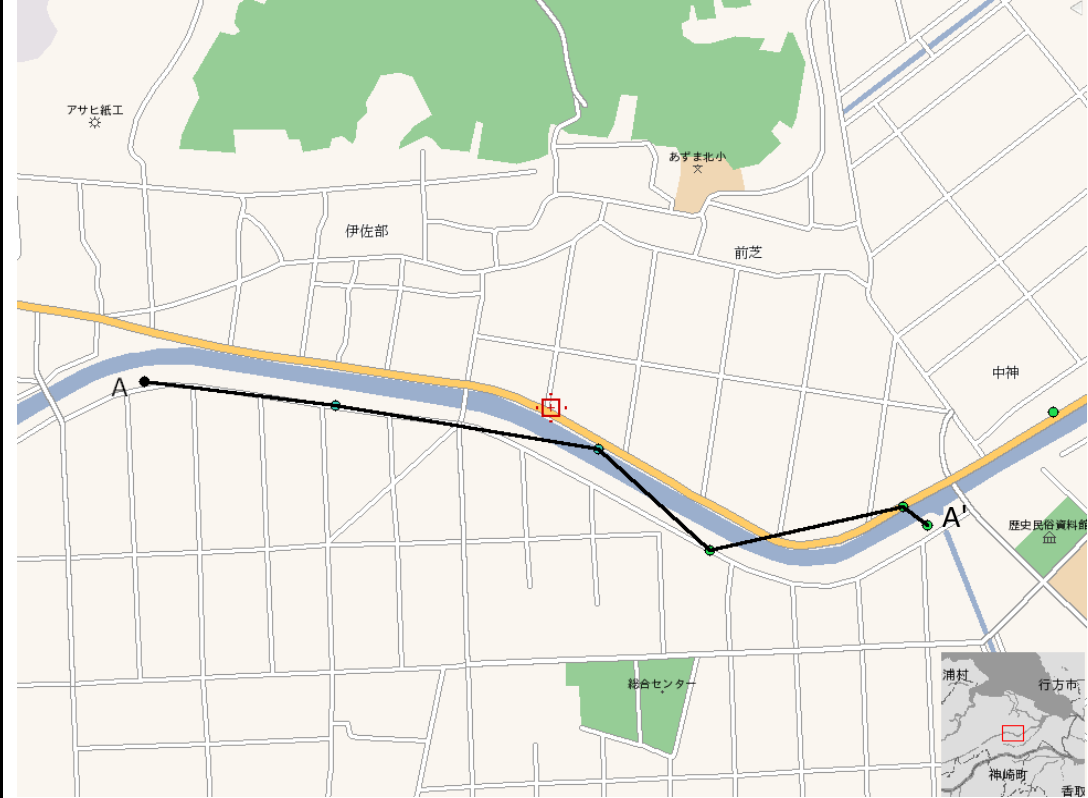


航空写真(2011年3月27日撮影)



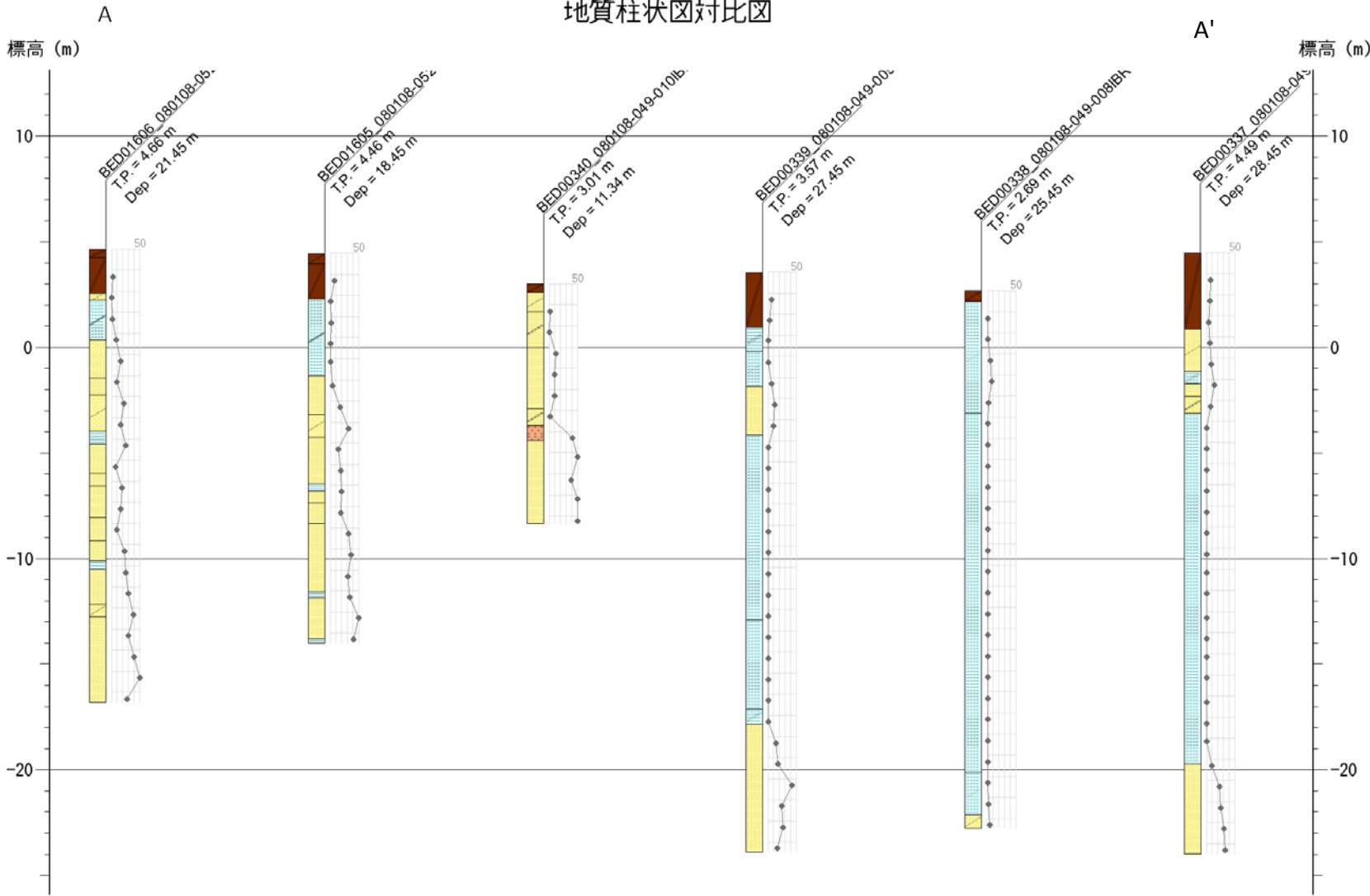
箇所名	稲敷市-2		都道府県	茨城県		市区町村	稲敷市		地区	伊佐部		4/6
地下水位	GL-0.65～2.35m	液状化対象層(層厚、深度)		Bs,As,Asc GL-0～8m(層厚3～8m)								
湿潤密度 ρ_t			平均粒径D50			細粒分含有率FC			塑性指数Ip			
平均N値	0～13		液状化強度RL20			S波速度Vs			相対密度Dr			
液状化抵抗率F			適用基準			液状化指数PL						

平面位置図

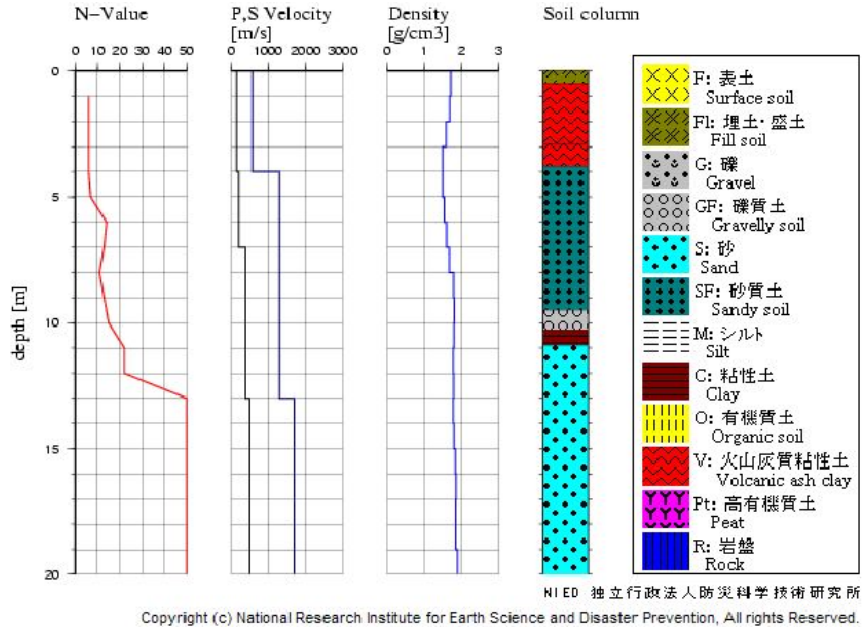
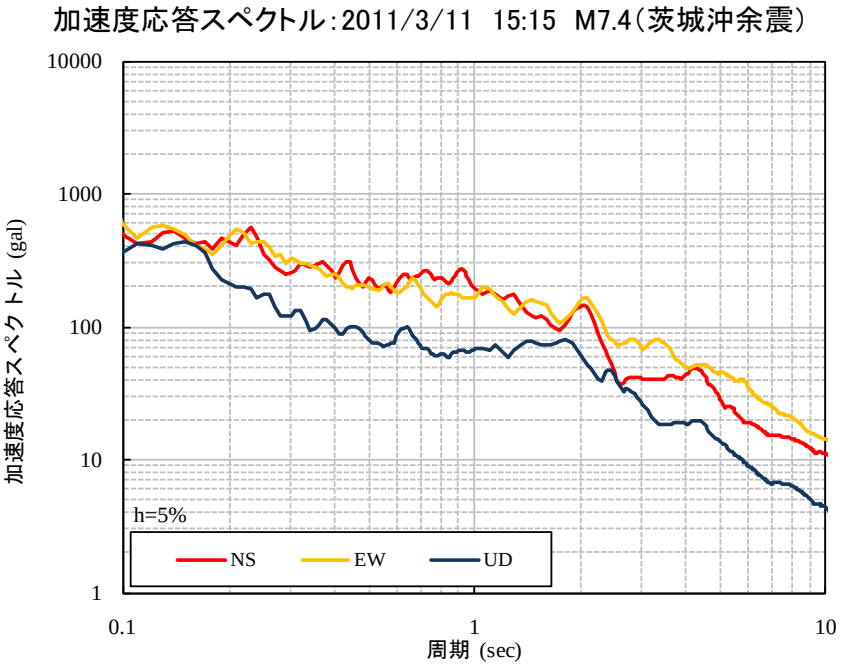
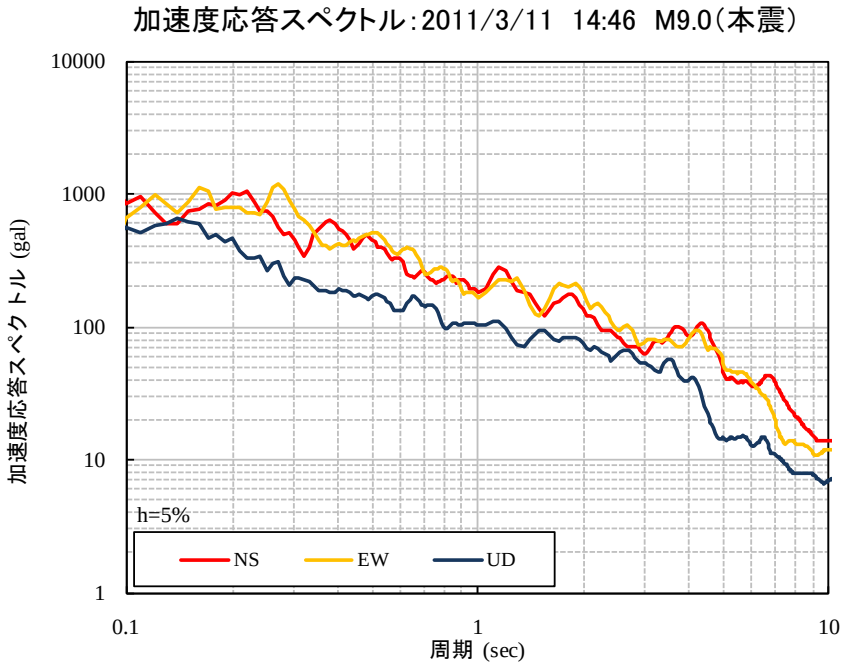
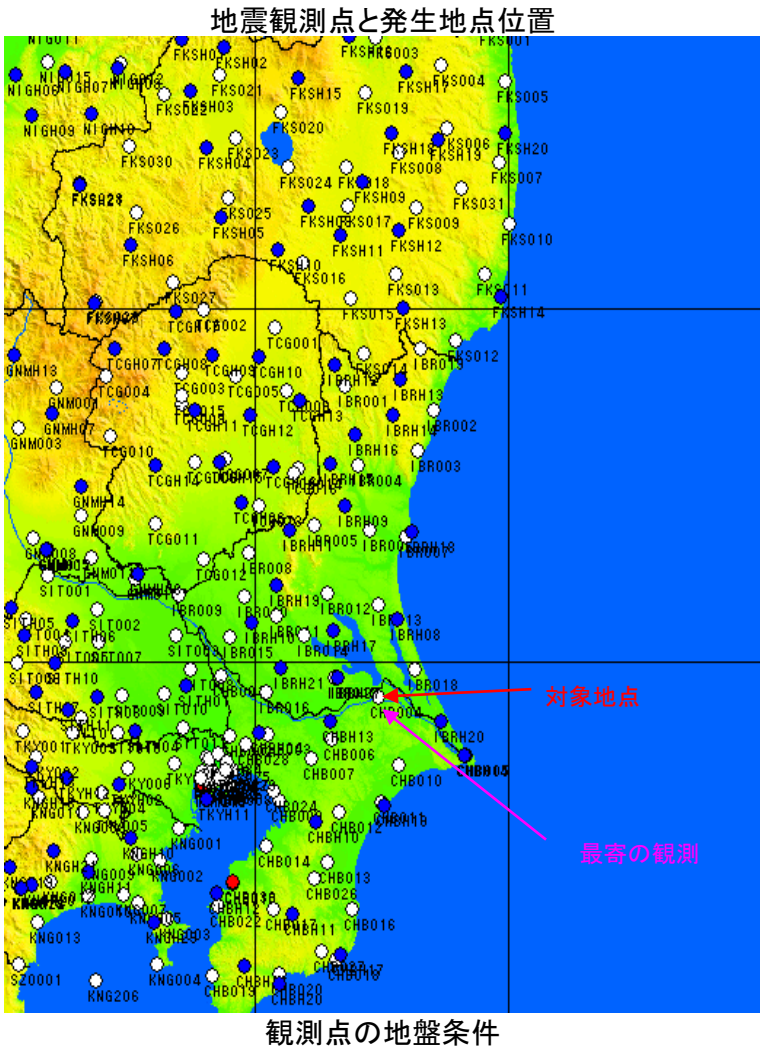
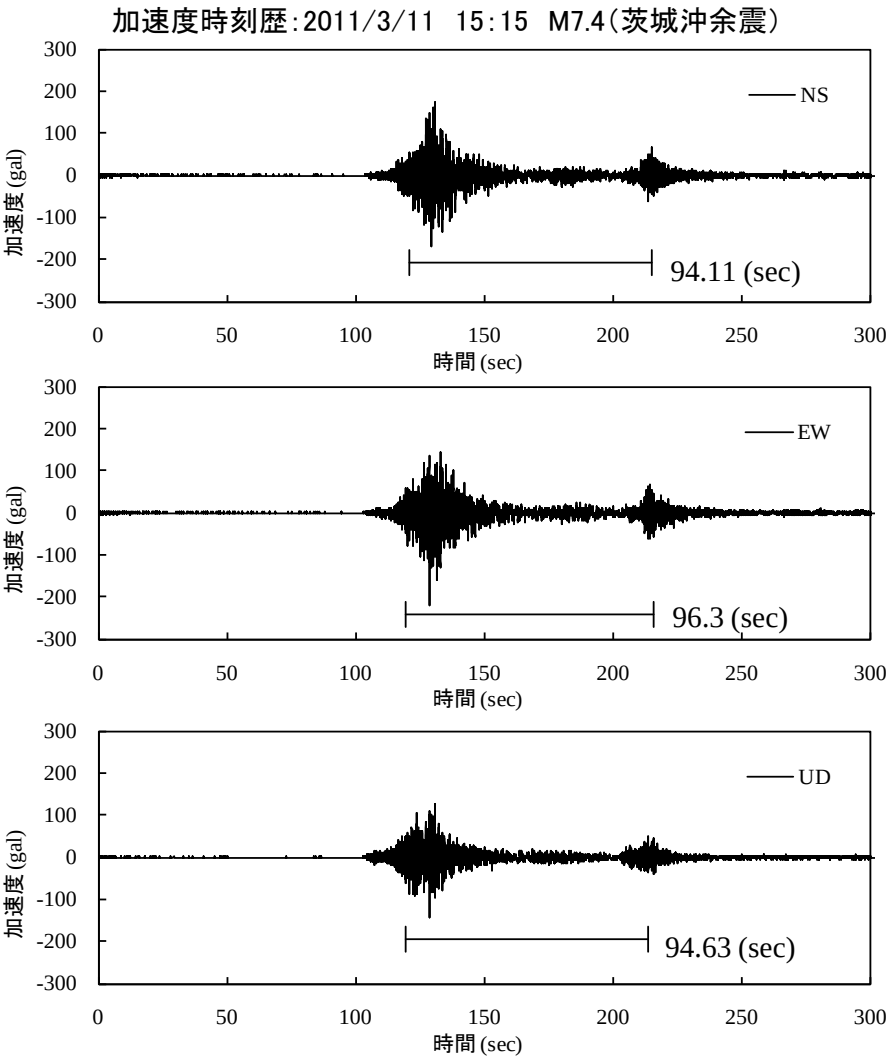
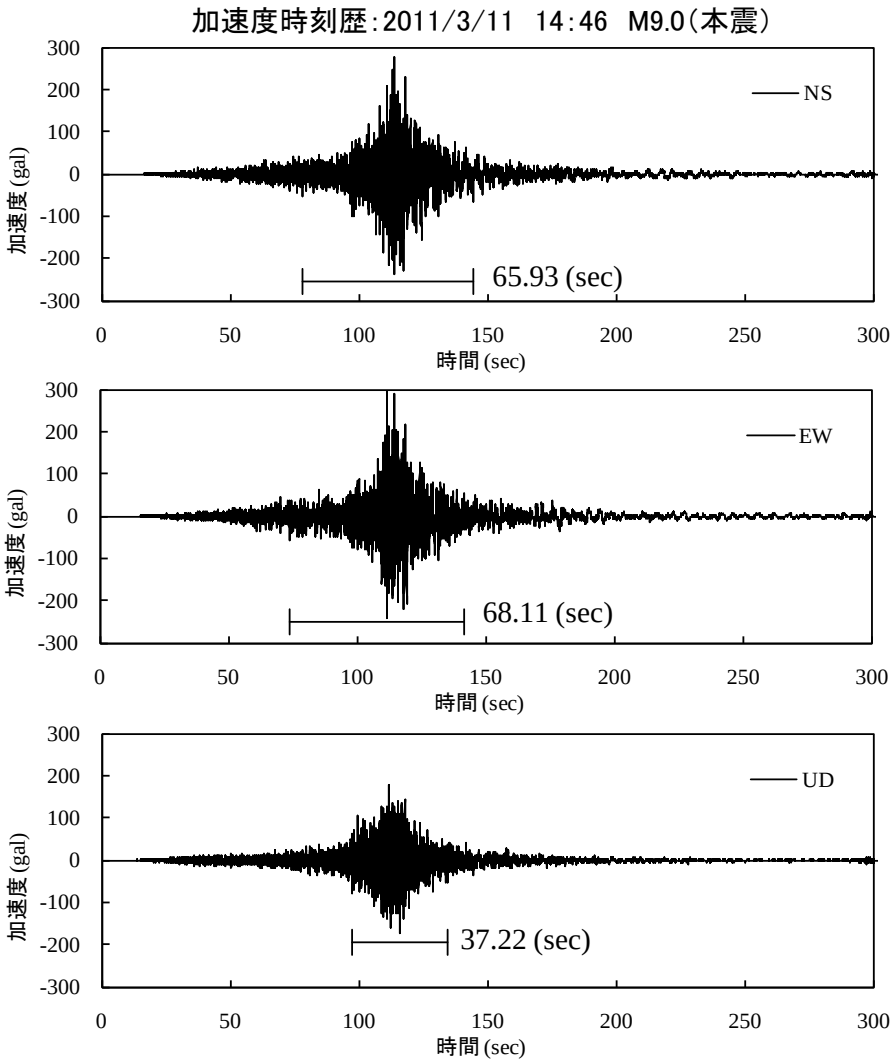


出典:防災科学技術研究所ジオステーション

地質柱状図対比図



箇所名	稲敷市-2		都道府県	茨城県	市区町村	稲敷市		地区	伊佐部					5/6
対象地震	2011/3/11 14:46 M9.0(本震)		観測点	K-NET佐原(CHB004)		対象地点との距離(km)	8.0	最大加速度(gal)	310.3	最大速度(kine)	26.3	継続時間(50gal以上)(s)	68.11	
	2011/3/11 15:15 M7.4(茨城沖余震)								244.6		23.1		96.30	
注)最大加速度、最大速度の値は3成分合成値						気象庁震度(本震)	6弱		出典	防災科学技術研究所HP				



箇所名	稲敷市-2			都道府県	茨城県		市区町村	稲敷市		地区	伊佐部			6/6
発生面積	小		地形分類	氾濫平野			液状化発生履歴	1987千葉県東方沖地震の際に付近に液状化発生の履歴あり						
土地改変履歴	河川改修がされており、旧河道の可能性もある。													
被害概要	堤防上道路のクラック													
噴砂の状況	なし				地盤の変形量(沈下、傾斜)			小		被害の程度			小	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会、稲敷市ヒアリング													

先名重樹（防災科学技術研究所）2011/4/12

